



シンガポール最大のお祭り

「Chingay Parade Singapore (チンゲイパレード)」に参加して

“WONDER なみえ” 代表 渡辺 泰彦

福島県浪江町のYOSAKOIチーム “WONDERなみえ” は2010年2月17日(水)～23日(火)の7日間の日程で、シンガポールのチンゲイパレードに初参加しました。

参加するにあたって、まずシンガポールという国の歴史とチンゲイパレードの内容について、インターネットで詳しく調べました。いろいろと知識を広げていくと、シンガポールはとても治安が良くて安全な国であること、観光名所が魅力的な場所が多いこと、また、チンゲイパレードが国民のお祭りであること、アジア各国から参加している国際色豊かな祭りであること、シンガポールの国の魅力とチンゲイパレードの華やかさにひかれて、私自身“WONDERなみえ”をチンゲイパレードにぜひ参加させたいと強く思いました。

表 経費負担の内訳

支出		収入	
成田～シンガポール旅費 (30名分)	1,425,000	浪江町からの助成金	850,000
浪江町～成田旅費 (30名分)	252,000	チーム遠征費	607,000
パスポート取得費用 (30名分)	480,000	町内企業からの協賛金	400,000
		参加メンバー自己負担 (1万円×30名)	300,000
合計	2,157,000	合計	2,157,000

浪江町の町長が大変進歩的な考えを持っていて、“WONDERなみえ”のチンゲイパレードの参加事業に対して国際交流の推進事業の認可をしていただき、浪江町から国際大会参加の補助金として85万円出していただきました。

また“WONDERなみえ”は結成10年目の伝統あるチームで資金を持っているので、チームから遠征費補助60万7,000円を捻出しました。さらには“WONDERなみえ”は、地域活性化のためにいろいろなイベントに参加していき、YOSAKOIに理解のある町内企業からの協賛金を募集したところ、40万円が集まりました。合計で185万7,000円の資金調達ができました。残りの30万円を参加メンバー30名で1人1万円、負担することにしました(表参照)。

メンバー募集

まず、メンバー総勢70名を対象に参加募集の説明会を開きました。海外遠征なので小学生のメンバーの参加は認めない条件で“WONDERなみえ”の中から40名の募集をしました。チーム自体が遠征には慣れているので、海外遠征にも抵抗がなく、すんなり40名の定員が埋まりました。ところが直前になって中学生10名が、学校の期末テストと日程が重なり最終的に30名の参加となりました。

経費の調達

30名の旅費(日本～シンガポールの往復)142万5,000円、移動バスの交通費(浪江町～成田空港の往復)25万2,000円、30名のパスポート費用(申請手数料)48万円、総額215万7,000円の資金が必要になります(現地での滞在費、レセプション等一部食費はシンガポール政府が負担します)。

パフォーマンスの構成

披露する踊りの練習は、毎週水曜日と土曜日の2回“WONDERなみえ”の定期練習がありますので、チンゲイパレード用の演技を振付けして、約2カ月でチームの踊りは完璧に仕上がりました。また、同じブロックで踊るタイと台湾の曲に合わせた踊りは、チームの高校生たちが振付けを考えて、参加メンバーで特訓をして完成させました。このようにして総時間3分間のチンゲイパレードバージョンができました。

シンガポールへ

準備万端で、いよいよシンガポールへ出発です。旅行会社が説明会を開催してくれたので、メンバーの知識や心構えはできていました。会話は、英語とタイ語と中国語はメンバーの中で話せる人がいるので、不安はありませんでした。チームの規律は日頃から代表を中心としてまとまっているので、心配はありませんでした。

成田空港から一路シンガポールへ。無事空港に到着すると、チンゲイパレードを主催するシンガポール人民協会（PA、People's Association）から4名と、財団法人自治体国際化協会（CLAIR）シンガポール事務所の方2名が迎えに来ていただいて、スムーズにバスで移動してホテルに到着しました。7日間シンガポールでの時間を気持ちよく過ごし、念願のチンゲイパレードに楽しく参加しました。帰国の時は、PAの方4名にバスで空港まで送っていただいて、スムーズに日本に帰りました。

参加した感想

まず1番に感じたことは、2日間開催されるチンゲイパレードが国の最大のお祭りとして、豪華絢爛で規模が大きいということです。大統領や首相をはじめ国賓の方々や何万人もの観客が見守る中、2時間のパレードが休みなしに、シンガポールを中心として各国の踊りが、次々に披露されます。その一員として“WONDERなみえ”が参加できる幸せに、感動と感激を同時に味わいました。パレードが終了した時はメンバー全員が涙を流して興奮状態、大満足の2日間でした。タイと台湾のチームとは、リハーサルとパレードとレセプションの4日間交流して仲良くなり、メールや住所の交換などをし、現在でも連絡を取っています。

次に感じたことは、PAの方4名がとても親切だったことです。7日間一緒に同行していただいて、大会当日やリハーサルの段取り、観光案内やホテルで



パフォーマンスの様子

の案内など、言葉に言い表せないぐらいお世話になりました。シンガポールの国民性の豊かさがPAの行動に現れていました。帰国時の空港では、PAの担当者と

メンバーが涙を流して別れを惜しんでいました。この光景を見て代表として、シンガポールに来て本当に良かったと思いました。



帰国後の反響

最後に帰国後の地元の反応ですが、代表メンバーが浪江町の馬場町長に帰国の報告をしました。この様子が、浪江町の広報誌の“広報なみえ”と地元の福島民報新聞、福島民友新聞の記事になり、広く福島県民に紹介されました。また、東北電力の広報誌“ふれあい”にも特集され、近隣市町村10万世帯に配布されました。この影響で“WONDERなみえ”が世界のWONDERとして、数々の各地のイベントに招待されました。現在でも遠征の日程調整に苦労しています。

チンゲイパレードに参加して、チームのメンバーにも変化が起きています。大会で好成績を取ることや美しい演舞をすることよりも、自分たちが楽しんで踊ることが一番、これが新しいチームカラーになりました。私も良い方向にチームが変身して、大変喜んでいきます。チャンスがあればまた参加したいと思っています。チンゲイパレードがさらに世界規模のお祭りに発展することを心より願っております。

CLAIR注：チンゲイパレードとは、毎年旧正月中に行われるシンガポール最大のストリートパレード。2010年は2月19日（金）、20日（土）に開催され、1回あたりの参加者数は7,000人以上、2日間の観客数は6万人以上に上りました。

なお、「チンゲイ」（chingay＝「粧芸」）とは、もともと装飾を施した小さな舞台または山車のことですが、広くは「仮装の技」という意味です。

※Chingay Parade SingaporeのHP
<http://www.chingay.org.sg/index.htm>

チンゲイパレードに興味にある方へ

CLAIRシンガポール事務所では、主催者であるシンガポール人民協会（法定機関、会長はリー・シェンロン首相）の依頼を受け、日本から参加するチームの募集から現地での支援までを行い、日本とシンガポールの国際交流の推進に努めています。チンゲイ・パレードへの参加について興味のある方は是非CLAIRシンガポール事務所までご連絡ください。

メールアドレス：info@clair.org.sg
 電話番号：(65) 6224-7927